

かみくす入れは ひとつきいづけい

とこの家にも 部屋にあくかみくす入れ

かみくす 私の部屋にも同じ柄の かみくす入れ

私^{がこころ}のすくなくのかみくすの入れはいつも

いづばいだ かつかかかについて 妻の房者だ

たう本や日記はいたるすむだ

はづかすというのはイコル するるとた

昨日は、かつたもうおしやめなくしは

急理だかど これをうるとかあると思つて

か夕箱たのこしていた多くうくつた

すてる時は思いさうないとやかくあつた

すい ちあつとしつ便えのかま 水廻をか

ける でも現実を考える 手がきでかみくす

い 自分にくつたをゆくことか出まるとい

これいや おしやれどころですい

さすお日記をすける時にかかれといふを

ふんでしまつた 二十四年だ

ついかつたとき 苦しんだことかかたてい

るとついでい それから どうしたのかと

ふか不やうてしきう

でもすそをうたえよ

「さういふとわかす入れはあやた

取り身えす 今必要をものだけにしな

そう著るふと納品君や領收君のうら

手のとどく範囲に無造作にふおれり

からすゝる物流出 ても「ブルのこは

すそゴクヤク」

リモコト 小型ランド

「サロ」 係いすゝカイ

かせ葉 「サカ」 「ア」 「ヤ」

「テ」 「ク」 「ヒ」 「カ」 「キ」 「ケ」

杖渡は 身一つでま

とんすは いいだり

「私」 「家」 「は」 「か」 「ゆ」 「く」 「お」 「入」 「し」 「と」 「葉」 「に」 「ま

2019 4/11